

FITフォーラム on Webinar 業務改革セミナー

2020年
7月29日(水)
10:00~16:10

省力化による経営資源の効率利用

受講無料

定員
50名
事前登録制

顧客や営業現場の目線から、業務プロセスの見直しが重要とされています。収益環境が厳しく、人材の大量投入が難しい現在においてシステムを活用した顧客とのつながりの維持・拡大が重要です。

本セミナーでは、ペーパーレス化などによる残業削減、データ活用による顧客に対する助言の事例を解説。経営資源の効率的な利用につながる手法を紹介します。

ネット環境があれば、視聴できます。

動作確認ページ▶ <https://millvi-cs.com/external/check/>
テスト動画を再生下さい。

再生できなかった場合は、確認ページ下部をご覧ください。

受講
資格

金融機関および金融機関系列会社にお勤めの方限定
※メーカー、ベンダー、その他の方は受講できません

主催：日本金融通信社(ニッキン) 共催：金融ジャーナル社
協賛：ディサークル、エンカレッジ・テクノロジー、ロゼッタ、
キーエンス、FP-MYS(講演順)

●お問い合わせ先

日本金融通信社(ニッキン) FIT 事務局
TEL.03-5860-7130 e-mail: fit@nikkin.co.jp

お申し込み方法



満席になり次第受付を終了します。
お早めにお申し込み下さい。



ウェブサイト

※受付締め切り：7月27日(月)12:00まで

fit.nikkin.co.jp/event

イベント名をご確認の上、お申し込みになりたいセミナーをクリックして下さい。



ハガキ

※受付締め切り：7月21日(火)到着分有効
同封のハガキに必要事項をご記入の上、お送り下さい。



FAX

※受付締め切り：7月22日(水)17:00まで
下記のFAX用紙に必要事項をご記入の上、お送り下さい。

申込書

FAX 03(3263)7559

※FAX受付締め切り:7月22日(水)17:00到着分まで
(必要事項をご記入の上、FAXでお送り下さい。複数名でお申し込みの場合は、お手数ですが本申込書をコピーのうえご利用下さい。)

7/29(水)「FITフォーラムonウェビナー 業務改革セミナー」に申し込みます。

一度の申込みで全てのセッションを受講いただけます。もちろん、個別でのセッション受講も可能です。

金融機関名	ご所属 部署名
(フリガナ) お名前	お役職
ご住所 〒	
TEL	FAX

E-mail ※「_」、「-」、「.」は、ハッキリとご記入下さい。 ※こちらに視聴用のURLを開催前日にお送りします。必ずご記入下さい。

ハガキ・FAXによるセミナーお申し込みの皆様へ:

セミナーへのお申し込みには、金融情報サイト[digital FIT]への会員登録が必要です。下記のURLもしくはQRコードから[digital FIT個人会員 利用規約]をお読み頂き、同意のうえ、お申し込み下さい。ハガキ・FAXのご記入内容に基づきFIT事務局にて会員登録いたします。お申し込みをいただいた時点で、利用規約に同意したものとさせていただきます。ご注意ください。利用規約に記載してありますが、本セミナー協賛企業各社に登録情報を提供します。予めご了承ください。URL▶https://fit.nikkin.co.jp/term_of_uses.html



オフィスや家で
受講可能!

チャットで
質問!

あとからでも
視聴可能!
(事前申込者限定)

アンケート回答で
「選べる電子マネー」を
もれなく進呈 ※1

※1 セミナー視聴後、アンケート回答で「選べる電子マネー」300円をもれなく進呈。(お一人様1IDまで)

セミナースケジュール

1

10:00
┆
10:50

【鳥取銀行様事例】POWER EGGを利用した業務改革方法

本セミナーでは、業務改革事例として鳥取銀行様の取り組みをご紹介します。同行では、2017年9月より業務改革支援ツール「POWER EGG」を稼働させて、稟議書や報告書等のペーパーレスを中心に様々な業務改革を実践し「印刷関連費用12百万円削減」「時間外手当33百万円削減」等の効果を上げております。この効果をどのような方法で実現したのかをPOWER EGGの紹介とともにお伝えいたします。

株式会社 鳥取銀行 法人コンサルティング部 副調査役 山平 学 氏
ディサークル株式会社 パートナービジネス営業部 課長 関戸 紀仁 氏

2

11:10
┆
12:00

パンデミックでも人手不足でも業務を止めるな! 証跡管理ツールで出来るBCP支援

パンデミックの発生や労働者人口の減少などにより、日本のビジネスを取り巻く環境はとてつもない状況にあります。そのような状況下でも事業を継続していく為に「テレワークによる場所を問わない働き方」や「RPA活用による業務の自動化」が推奨されておりますが、金融機関で実際の業務に適用していくには様々な課題が存在します。この講演では、証跡管理ツールで出来るそれらの課題の解決方法をご提案させていただきます。

エンカレッジ・テクノロジー株式会社 マーケティング部 中嶋 恵里奈 氏

3

13:00
┆
13:50

外資・内資金融機関100社超に導入されているAI自動翻訳を使った業務効率化とは?

AI自動翻訳「T-400」の導入企業による活用事例をもとに、コスト削減や業務効率化についてご紹介します。また、金融業界の翻訳精度95%である「T-400」の開発背景(金融翻訳のビックデータ元はなんと...)や、便利な使い方(学習機能、ファイル翻訳、他サービス比較など)をご説明し、「ボタン3つ」の簡単操作でできるアナリストレポートの翻訳についてデモンストレーションを行います。

株式会社ロゼッタ MT事業部 マネージャー 渡辺 恵也 氏

4

14:10
┆
15:00

データから有効な打ち手を見つける「キーエンス流データ活用術」～金融活用事例～

金融機関を取り巻く経営環境が大きく変化中、お客様を理解することの重要性が高まっています。本セッションでは、お客様を理解し信頼関係を深めるために有効な「トランザクションデータ」の概要と、金融機関での活用例、活用における課題とその解決策を、キーエンスでの取り組みを交えながらご紹介します。

株式会社キーエンス データアナリティクス事業グループ 峯尾 翔太 氏

5

15:20
┆
16:10

相続対応は「最後の手続」返はオンラインに代わる。ウィズコロナの「レタプラ」活用術

金融機関に入る相続の相談はすぐに案件にならない「もやとした相談」が多い。この対応のために顧客の自宅へ何度も向かい、長時間滞在し、専門家と情報共有するのはとても煩雑です。これまでは現場の担当が足しげく通って築いた顧客との信頼も、コロナ禍においては大きなリスクとなります。そこで相続相談をオンライン化し、スマートフォンを使って「現時点の資産概要を知る」、相続プラットフォームサービスが注目されています。

株式会社FP-MYS 代表 工藤 崇 氏